

NSF、持続可能性研究ネットワークの研究事業 2 件に対し、それぞれ 1,200 万ドルを助成 (10 月 2 日)

米国国立科学財団 (National Science Foundation : NSF) は、「持続可能性のための科学・工学・教育 (Science, Engineering and Education for Sustainability : SEES)」助成プログラムの一環である「持続可能性研究ネットワーク (Sustainability research Network : SRN)」を通して、2 件の研究事業に対してそれぞれ 1,200 万ドルを助成すると発表した。

今回助成対象となっているのは、①コロラド大学ボルダー校 (University of Colorado Boulder) が主導する、天然ガス開発による利点を最大限に伸ばしつつ、大気や水資源といった人間社会や生態系に与える悪影響を最小限に抑える手段を探求する研究と、②ペンシルバニア州立大学 (Pennsylvania State University) を中心に、その他の大学及び研究所 9 機関によって行われる、持続可能な気候リスク管理戦略に関する研究である。

National Science Foundation, Two NSF Sustainability Research Networks Are Each Awarded \$12 Million

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=125599